

# 雪代災害を未然に防止



発行

建設省  
富士砂防工事事務所  
富士宮市三園平1100  
電話 (0544) 27-5221



スラッシュ雪崩跡

溶岩片に覆われたブロック塊  
中心部は雪や氷



滑沢のスラッシュ雪崩跡

昨年12月8日、富士山西側斜面の大沢崩れ、滑沢、一番沢、二番沢など南西野溪で水分を多量に含んだスラッシュ雪崩（雪代）が広範囲に発生し、滑沢では土砂が約10キロ下流の栗ノ木沢まで到達しました。しかし、到達点では栗ノ木砂防ダムが効果を発揮し、災害を未然に防止することができました。

古来、富士山で雪代と呼ばれて恐れられてきたスラッシュ雪崩の土砂を止められたことで野溪砂防の重要性を改めて実感しました。

今後とも環境を考慮に入れ事業を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

# 果を發揮 力を



平成4年12月8日、富士山で発生したスラッシュ雪崩分布平面図

- 大沢崩れのスラッシュ雪崩は標高1700mで止まっている。
- 栗ノ木沢では、ダム工群を鋭意施工中である。



栗ノ木ダムを流下する雪代

# 栗ノ木ダム工群、砂防の効果

## 富士山野溪対策 一層の充実

●スラッシュ雪崩とは：富士山で発生するスラッシュ雪崩は、大量の岩塊表土や倒木を巻き込んで流下する特に水分が多い雪崩を言います。古くから富士山では山麓の住民により「雪代(ゆきしろ)」と呼ばれて恐れられてきた。



平成4年3月に西富士橋とともに完成(栗ノ木第4ダム)



被害を未然に防ぎ満砂状態になった(栗ノ木第4ダム)



# 砂防の事業展開は地域の方々と…

第1回 SABO Mt.FUJII 懇談会を開催(H4・12・17)

今後の砂防事業の展開を考えるため、富士砂防事務所では地域の方々のご意見、ご要望をうかがう場として懇談会を企画、開催しました。

## ■ヘリコプターによる管内視察

### ■提言の概要

- 災害体験を掘りおこし、実感をもって伝える工夫
- 大沢崩れに対して下流域の人々がどのように感じてきたか古文書の整理
- 富士山の山の様子の違いを整理

メンバー：若林 淳之(静岡学園短期大学学長)  
 渡辺 紀(富士宮市長)  
 小林大八郎(富士市市議会議員)  
 塩川 隆司(富士宮市元教育長)  
 井手 潔(狩宿区長)  
 三木 洋一(富士砂防工事事務所長)

関係機関：富士宮市建設部河川課長  
 富士市建設部河川課長  
 芝川町建設課長  
 事務局：富士砂防工事事務所



## 第2回 SABO Mt.FUJII 懇談会開催について

次回予告

日時 平成5年2月17日(水) PM 15.00～

場所 富士宮プリンス会館(魚勝) 富士宮市錦町7-8  
 ☎0544(27)3341

●一般の方々の聴講をお待ちしています。

(なお、人数に制限がありますのであらかじめ事務所にご連絡ください。)

### 情報提供のお願い

●貴重な写真、資料等お持ちの方、また災害体験を有している方の情報提供をお願い致します。

(連絡先)富士砂防工事事務所(建設専門官又は、調査課長まで)

☎0544(27)5221(内線350又は351)

建設省富士砂防工事事務所

〒418 富士宮市三園平1100 TEL.0544(27)5221

富士宮砂防出張所

〒418-02 富士宮市上井出826-1 TEL.0544(54)0236

富士山を守り地域の安全に貢献する